

8. アンケート結果

イ. 参加学生

1. 今回、体験塾に参加された！正直な感想をお聞かせください。

①大変よかった(4名/15名中 26.7%)

- ・社会に出る前に少しでも雰囲気を知ることが出来た。資料作成やパワーポイントを作るときに時間を取られ途中で嫌だなと思ったけど、無事最後までやりきることが出来て良かった。
- ・私が行った企業では、機械を使ってモノを作るというのではなく、設計、材料や加工方法の選定など、実際の仕事に近い体験が出来たのはありがたかった。
- ・受け入れて下さった企業様には本当に良くしていただいた。技術・加工の話は、もちろん、技術者としての進路や生活についてまで教えていただいた。
- ・これまで、このようなインターンシップをしてそれを発表するなど、経験したことがなかったので本当に良い経験となりました。

②よかった(10名/15名中 66.7%)

- ・当初考えていたモノづくり体験塾よりも、工場見学を通じて現場を学び、座学を通じて技術的な内容を学ばせていただきました。
- ・現場で体験させていただき、また企業様も参加されるフォーラムで発表したことは貴重な経験となった。
- ・色々な話を聞く事ができた。大学生や他の学校のことも聞けたのでよかった。
- ・学校ではさせて頂けない体験をすることができ、またそのことをまとめる(自分なりに)、そして発表するという学校では習わないことができ、とても良い経験となりました。また他の学生の発表を見ることができ、良い参考とすることができました。
- ・最初は、大学生や会社の人があると聞いてすごく嫌だったのですが、実際発表してみると、だんだん楽しくなってきた大きなミスがなく、個人的には良い経験になりました。
- ・少し話が難しかったです。
- ・大学生の話が聴けて、説明力がすごいと思った。
- ・この活動を通じて、自分が進歩したと思った。
- ・モノづくりの現場を実際に体験することで、将来私自身が就職した時のための良い経験になったと思います。プレゼンテーションの作りから、話し方などの方法を学ぶことができた。

③どちらでもない(1名/15名中 6.6%)

- ・こういう体験はめったにありませんので、色々な方の体験した話を聞けたのは興味深かったです。

2. 困ったことや、気になったことはありますか。

- それぞれの企業で、体験に幅があり過ぎるように感じた。自分のように工場見学だけの人から単純作業の人まで、差があり過ぎかと思った。

- 体験する期間と発表の日までに期間が短いと感じました。また、会場の規模が大きくて緊張しました。
- 大学生さんは、インターンシップの体験中どういった所に目を向けているのか、どんなことを質問したのか気になりました。また、パワーポイントはどれも作り方や構成が何かのマニュアルみたいに同じで、とても気になりました。
- 体験内容上仕方ない部分もありますが、（課題に対する）答えが決まっていない中での体験だったので、他の人より日数が多くかかってしまった。そのため最終体験日が発表の1週間前となってしまった。私の作業や試作品の機構の思いつき等に時間がかかったことに起因しており対策等はないかも知れないが、今後発表までに体験内容が形になっていない人が出てくるかも知れない。
- 企業先と先生とのやりとりがスムーズにいかないことがあった。
- 進学のための入試勉強や就職活動の時期が重なっていること。
- 緊張し過ぎて頭が真っ白になった。発表中に緊張のせいか、足が震えてしまってとても困りました。
- 会場の雰囲気が固く、すごく緊張した。
- 少し空気が乾燥しているなど感じました。休憩時間をもう少し長くして欲しいと思いました。

3. 今後、学生の皆さんが参加しやすくするための工夫、アイデアなどがあればお書きください。

- 企業様、先生、学生が上手にやりとりを出来るような工夫があれば良いと思います。
- どんな企業かはネット等で調べたらわかるが、実際は行ってみないとわからない部分があり、体験内容もわからないというのは少し怖い。体験内容は先に提示するなどすると、参加者が増えるかも知れない。
- 実施時期を夏休みと合わせていただきたい。受入企業と学生が受入決定前に面談する機会が欲しい。
- モノづくりに興味がある中学生にも参加させてはどうでしょうか。
- 発表する場を複数に分けて行くと学生は責任感が少し減り、時間も短時間で済むと思います。
- ベストプレゼン賞など、賞のようなものがあればモチベーションアップにも繋がると考えます。
- 今回発表した資料を参考としてパンフレットに一部載せる。
- もう少し交通の便の良い所で、このフォーラムをして欲しい。（参加しやすいため）

4. 今回の体験を、今後の実社会で生かせることはあるでしょうか。

- 企業との連絡を取るなど初めてであり勉強になりました。パワーポイントを用いての発表を行う機会は少ないため、良い経験となった。
- 人間関係や実際に現場で行った体験、その他の普段体験できないようなことを経験でき就職後に生かしていきたい。
- 人前に立つ度胸がついた。準備することの大切さ、コミュニケーションの大切さがわかりました。
- 今回初めてこういった経験ができた。社会でもパワーポイントを使って発表することがあると思うので、すごく貴重な体験をさせていただきました。

- 社会人になってもプレゼンテーションをする機会があると思うので、今のうちのこういった体験は、今後の実社会で生かせると思います。
- これから必要になる発表力をこういった所で実践できました。自分に必要だと思うので良かったです。
- こういうパワーポイントを用いて、自らの意見を発表する行為は会社に入った時には非常に重要なので良いと思いました。
- 作るだけでなく、設計するだけでなく、さらに製品でもなく、今後製品として作られるかも知れない“試作品”を設計から作成まで体験させていただいたことは、今後の考え方や手順、やり方を含め、様々な所で役に立つと思う。
- 仕事を行い、信頼を得るということを実際に見せていただいたので、自分が働く時には、追いつくことを考えるだけで社会人に入っていくことができると思う。
- 様々な企業の様々な指針や製造方法を学べたので、自分の中に広がりや深みがあったと思います。この経験は将来の糧になると感じました。

□. 協力企業

1. 今回、体験塾にご協力いただいた！正直な感想をお聞かせください。

①大変よかった(7名/15名中 46.7%)

- ・受入側も学びになる。
- ・学生さんと共に働くことで社内にとって良い刺激になり、新鮮な雰囲気が出た。
- ・考えている以上に、しっかりと当社について学んで頂いたことに感謝しております。
- ・なかなか良くまとめ上げていると思いました。限られた時間ということもあって、どうやってまとめ上げれば良いか、努力の跡が見受けられました。
- ・最近の大学生はどの様なことを考え、どの様な勉強をされているのか、意識が手に取る様に理解できました。
- ・高井田をはじめとしたあらゆる企業の開発商品と、その努力を知る良い機会となりました。このような場はまだ少ないので、是非次回開催も期待したいです。
- ・鑄造業に関わる人が年々少なくなる中、少しでもその面白さや大変さを理解してもらえればと思います。
- ・就業体験がキチンとされていると思った。3D-CADの実習が大学で行われていることには進んでいると思った。

②よかった(8名/15名中 53.3%)

- ・手間の掛かることも多いが、良い経験・勉強となった。
- ・学生にモノづくりに実際に触れてもらう機会となり良かった。
- ・3D-CADを使いこなすなど、当初想定していたより学生の能力が高く、実際の開発を進めることができた。
- ・一部の発表で企業紹介の時間配分が多く、実際の経験や気づきの報告がやや不足であるように感じました。
- ・高校生が2日間、大学生は3日間と短い期間でしたが、発表を見せて頂いたことで、学生さん達が弊社について良く理解して頂けたということが感じ取れました。
- ・受託会社、会社との事前打ち合わせ（担当教授とのオリエンテーション等）を行うことで、学生の持っている思考に合った指導ができると思います。

2. 学生の行動で、困ったことや気になったことはありましたか。

- やはり高校生と大学生とは何かにつけて差があるのは仕方ないと思います。今後も彼らにはできるだけ多くのプレゼンの機会をあげて欲しい。
- 発表はもっと良くできるのではないかと感じた。
 - ・高校生：全体的にカンペ読みに終始していたのが残念。感じたことなどは自分の言葉で伝えて欲しい。
 - ・大学生：単なる感想だけでなく、技術的なポイントや考察など、一步踏み込んだ発表が出来るるとより良いと感じた。
- 夢を持たない、持てない学生に対する対応等は、今回新しい視点で指導することが出来ました。
- 特に無く、学生は思ったより行動力や知識があった。
- 素直な学生で困ったことはなかった。安全面が一番大切であり、今後は服装など貸与出来ればと考えております。
- 皆さん礼儀正しく、明るく元気に過ごしてくれましたので、困ったことは特にございません。

3. 次回、企業が学生を受け入れやすくするための工夫、アイデアがあればお書きください。

- 企業側は特に問題は無いと思います。学生さんの参加を増やすことの方が難しいように思えました。
- 発表会の資料や事例をPRすれば良いと思う。
- 座学より機械を動かす等の体験をさせる。
- 期間をもう少しだけ長くすること、早いタイミングから準備をさせて頂けると助かります。
- 受入期間の分散・拡大（複数化）、長期間化（5日間）
- 3日間の受入れは業務上負担が大きいです。1日のみであれば受け入れやすくなるかと思えます。
- 繁忙期（年末近くなど）を避けられるよう事前打ち合わせを十分に行う一方、学生側のモチベーションを高めるため、発表に対して賞を与えるのはどうでしょうか。
- モノづくり現場で実際に触れてもらう時間が少なく感じたため、もう少し長い時間、現場体験してもらえたら良いと思います。
- 担当教授との打ち合わせが出来れば、より充実した体験塾になると思います。
- どのような就業体験がしたいのか、予め教えていただければご希望に沿ったインターンが実施できると思います。
- 学生側から主目的の提案があれば、良い「モノづくり」を意識したプログラムになった気がする。
- 発表会では、目上の方への接し方、コミュニケーション力不足の声が多かった。
- 学生たちに、より掲題のチャンスを与えるようにしてあげて欲しいと思います。
- もう少し鑄造の知識があれば、受け入れやすくなると思います。

4. 今回の学生受入を、こういった形で活用される予定ですか。

- 採用活動において、学生さんがどの様な目線で見ているかを知ることができる。新入社員の教育にも役立てたい。
- 今後同様のイベントがあった際には、今回の経験を活かしたい。新入社員のマニユ

アル作りのヒントとして活かしたい。

- 指導員の育成や手順書の整備
- 当社に対しての印象や提案を聞き、取り入れたい。
- 社内の自社理解（インターナルブランディング）の推進や、学生の立場から見た企業としての魅力向上等を目指した活動に活かしていきます。
- 今の時代の学生の動向を理解することができ、また、この出会いのチャンスがうまくマッチングすれば、彼らの将来の途に沿ってやっていきたいと思えます。
- 将来的に弊社に入社して下さる生徒さんがいらっしゃればと考えています。
- 人材確保のためインターンシップを受け入れますが、その参考となりました。
- 体験塾、学校の方々と交流を深めて、特に理系の人材確保に活用していければと考えております。
- 本人が就業体験中の画像を撮影し、就業体験の様子を会社ブログ（トピックス）として掲載した。
- ホームページなどに今回の活動内容を掲載させてもらい、東大阪のモノづくりに対する思いと努力、並びに弊社の取組内容のPRに活用致します。
- 学生や社会人対象の工場見学やワークショップ等に、目的に合った情報提供が出来るものと考えます。
- 学生の方に鑄造の楽しさを少しでも理解してもらえれば、今後の社会生活にも役立つかと考えます。また、従業員にも、人に自分の職場をわかってもらえる様に知識を高めるキッカケになれば良いと考えます。
- 社員教育、地域とのつながり
- バイトなどの形で、今後業務を手伝っていただきたいと考えている。

5. 来年度も開催するとしたらご協力いただけますでしょうか。

①協力する(14名/15名中 93.3%)

②検討はする(1名/15名中 6.7%)

(受入課題)

- ・金型製造工程の体験
- ・新しい技術の進化論をお互いに学びたい
- ・安全を考えると、見学レベルで終わってしまう。モノづくり体験までは困難と思えます。
- ・時期として年度末に近いと、通常業務と重なるためしんどい
- ・受入日程
- ・就職につながる仕組みづくり
- ・事前の打ち合わせ

ハ. 参加者

1. フォーラムに参加された正直な！感想をお聞かせください。

①大変よかった(7名/12名中 58.3%)

- ・若者がインターンシップ制度により、新たな知識や課題を見つけることができ、しっかりと発表されていたこと。また、受入企業さんにとっても若者の意識や可能性を知ることができる。双方にメリットのある取組みと感じました。

- ・次世代のモノづくりを担う高校生、大学生の成果発表というスタイルも良かったと思います。なお「全体講評」的なものがあったとしても良いかと思いました。また、どちらかと言えば、全体の時間がやや長く感じられました。
(3時間位の尺だといいですね)
- ・短期間の体験にもかかわらず、学生なりに様々な刺激を受けていることに感心すると共に、企業側も温かく見守る姿勢に共感を覚えた。
- ・学生の新鮮な眼で見た企業紹介、本人の課題解決、将来への希望等が良くわかりました。
- ・熱い思いでモノづくりを学ぼうとする学生さん達の発表を生で見て、こちらも胸が熱くなりました。
- ・「モノを作る」大切にしたい言葉だと思います。人の前でお話をすることに感動しました。
- ・学生さんの前向きな意見が多く聞けた。
- ・とても勉強になりましたし、考えさせられることが一杯ありました。楽しかったです。

②よかった(5名中/12名中 41.7%)

- ・私自身あまり東大阪市周辺の工場を見に行けないので、東大阪の企業さんがどのようなことをしているかが良くわかりました。

2. 発表の中で良かった学生は誰でしょうか。上位3者(チーム)を発表番号で記載し、理由もお願いします。

※2票以上

①番(藤塚精密金型株式会社) 8票

- ・教えてもらった技術者への尊敬
- ・内容、進行、話し方全て安心して見ていられた。
- ・設計からモノづくりまで体験できたこと
- ・自身の研究テーマとインターンシップの目的が明確で、企業が重要と考えるモノづくりのポイントを良く学ばれました。
- ・技術やノウハウを平易かつ丁寧に、更にユーモアをまじえて解説されている。
- ・企業との技術協力関係が良くわかりました。
- ・資料、発表内容、説明全てがわかりやすかった。

③番(株式会社 電業) 4票

- ・非常に元気があった。
- ・元気いっぱいの発表で好感が持てた。
- ・会社ブランドの説明が素晴らしい。
- ・自分の言いたいことが言えていた。

②番(株式会社 繁原製作所) 3票

- ・製造業のおかれている環境を学び、変化に対応する企業の取組みを良く理解していた。
- ・「利益を出せるモノづくり」(付加価値、外部購入費等への言及)はExcellent!

⑤番(株式会社 フセラシ:高校生) 3票

- ・元気があり気持ちの良い、自信があるレスポンスでした。
- ・話の運びが上手でわかりやすく発表した。
- ・インターンシップ先企業を含め、社会（おとな）への感謝の気持ちが溢れている。

①番（フジ矢株式会社） 2票

- ・仕事の内容の丁寧な説明
- ・コツコツ楽しくやり甲斐を持って仕事する、何かを始める前の準備の大切さ。

⑦番（株式会社 パリティ・イノベーションズ） 2票

- ・聞きやすく提案姿勢が良かった。
- ・企業の製品について自分なりに工夫も加えて、新製品の開発が素晴らしい。

⑬番（株式会社 川勝熔工所） 2票

- ・「職人の技」「神技」技術の差を体験する。
- ・職人技と住工共生

⑰番（株式会社 excellent） 2票

- ・現場の状況を良く観察され提案まで行われた。
- ・分析がしっかりとしている。

3. フォーラムに参加され、何か発見はありましたか。

- 今回の体験を発明クラブで教えるなど、教えてもらったことを繋いでいくことで、自信に繋げ有意義に活用している。
- 高校生は、将来「働く」ことについてのイメージをつくる。
大学生は、課題や次のステップを意識している。
この違いが面白かったです。高大連携、企業連携は楽しいと思いました。
- 普段、インターンシップで学生さんの受入れを行っていますが、学生さんの感想を聞く事が無かったので、今回学生さんが様々な視点で体験に取り組んでいることがよく分かりました。
- 受入企業様にとっても、大学・高校生の指導者にとっても学ぶことの多い取組みだと思います。特に指導者の活性化に期待しています。
- 理工系学部の大学生が、東大阪の企業が有する高度な技術をわかりやすく解説するというのは興味深いですね。当該企業の了解さえ得られれば、You Tubeにシリーズ化も。
- 良く観察されていると感じ、魅せられる会社になっていきたいと感じた。
- いかにわかりやすく説明できるかが大切であること、学生らしい気づきを学んだ。
- 日々の暮らしの中で、made in Higashiosakaがたくさんあることに感動しました。
- 東大阪の企業の事業内容や技術を、学生が発表・説明するという場が提供されていた。たくさんの人に聞いてもらえればと感じた。今後の化学反応に期待したい。

4. 本日のフォーラムを何でお知りになりましたか。

- | | |
|-------------|-----------------|
| ①メールマガジン | (0名/12名中 0.0%) |
| ②事務局からのファック | (2名/12名中 16.7%) |
| ③知人からの紹介 | (7名/12名中 58.3%) |

④ホームページ (Face book) (2名/12名中 16.7%)

⑤その他 (体験塾の所属学校) (1名/12名中 8.3%)

5. モノづくり体験塾で、今後期待することがあればお書きください。

- 学生の体験の成果をもっと広げ、繋いでいって欲しい。
- たくさんの企業や生徒さんに体験してもらったらうれしいです。
- もう少し広いモノづくり業種で、色々な体験をして欲しい。
- このような取組みが、他の市にも広がることになればと思います。
- モノづくり人財育成の取組みとして、東大阪のみならず全国、全世界に発信することが必要ですね。今ならやはりSNSの利用でしょうか・・・・・・・・
- 東大阪市長が来られたことは、とても印象的で素晴らしい。
- 機械系だけでなく、文具の流通センター、松尾捺染さんのようなプリントも東大阪にはあるので、全製造業に広がればなあと思う。
- 筋違いかも知れませんが、体験塾の受入企業さんの代表者の方に、これから受入れを検討している企業へのセミナー(?)を企画して頂けたらうれしいです。